

REPORT | 大手町・丸の内・有楽町（大丸有エリア）の中心で「日本で最も美しい村まつり」を開催



● イベント開催の支援を通じて、大丸有エリアのさらなる活性化を目指す

東京駅と皇居の間に位置する大手町・丸の内・有楽町エリア（以下、大丸有エリア）は、多くの企業が集積する日本のビジネスの中心地でありながら豊かな自然に恵まれ、ショッピングやレストラン、コンファレンス・イベント施設など、活用価値の高い魅力あふれる施設やユニークベニューが点在しています。

MICE（Meeting, Incentive, Convention, Event & Exhibition）の誘致を進めるDMO東京丸の内は、その開催地として大丸有エリアの魅力を発信するとともに、エリア全体の活性化に寄与することを目指して、エリア内の施設を活用したさまざまなイベントの開催支援にも力を注いでいます。

2022年10月30日（日）、東京駅前に広がる新街区「TOKYO TORCH」で開催した「日本で最も美しい村まつり」はその一つです。その名の通り、日本の美しい村々の魅力を発信するべく企

画された同イベントのメイン会場となったのは、常盤橋タワーに隣接する「TOKYO TORCH Park」。NPO法人「日本で最も美しい村」連合に加盟する町村地域の人々が一堂に会し、特産品を販売する村マルシェや村の暮らしと仕事を体験できるブースが設置されたほか、特設ステージでは、村でしか鑑賞することのできない稀少な伝統芸能が披露され、来場者は約4000名にも のぼり、大きなにぎわいを見せました。

このイベントがユニークなのは、お祭りと同様並行でビジネスイベントが開催された点にあります。同日午後からは、常盤橋タワー8階のカンファレンスルームに「日本で最も美しい村」連合に加盟する町村地域の35歳以下の若者が集結し、今後の村づくり活動について考える「全国U35みらい創造会議 IN TOKYO」が実施されました。

●地域にとって再出発の起点となり、村との出会いと交流の場になることを願って



NPO法人「日本で最も美しい村」連合の副会長・二宮かおる氏

開会式では、本イベントの主催を務めるNPO法人「日本で最も美しい村」連合の副会長・二宮かおる氏が登壇し、来場客に向けて挨拶を行いました。この連合が設立されたのは2005年。当時、フランスで行われていた「フランスの最も美しい村」運動に感銘を受けた二宮氏の伯父の

松尾雅彦氏と、元北海道美瑛町長の浜田哲氏の働きかけをきっかけに7つの町村からスタートし、現在では全国61の町村地域が加盟しています。

「『日本で最も美しい村』連合は、失ったら二度と取り戻せない日本の農村漁村の景観・文化や美しい営みを住民の力で守り、後世に残していくことを目指して活動しています。ここ数年、人々の出会いの場や地域同士がつながる機会が減り、全国の各地域ではお祭りや出店の自粛を余儀なくされ、村や町が誇るべき宝を知っていただく機会も失われていました。今日のお祭りが地域活動の再出発の起点となり、来場された皆様と美しい村との出会いと交流のきっかけになることを願っております。また、日本のオフィスの中心街である丸の内でこのようなイベントを開催できたことを大変喜ばしく思っております」

● 町村地域の魅力を凝縮した「日本で最も美しい村マルシェ」



このお祭りのハイライトの一つである「日本で最も美しい村マルシェ」には、北海道鶴居村から沖縄県多良間村まで全国から18の加盟町村地域が出店しました。

その町ならではの強みを活かしたバラエティ豊かな商品を取り揃えられ、各ブース大盛況。中には商品ラインアップのほとんどが午後には完売という好調な売れ行きを見せるブースもありました。



このイベントに参加したきっかけを村の人に尋ねると、「日本で最も美しい村連合としては初めての取り組みですが、かねてから交流のあった長野県木曾町さんが出店されると聞いて、私たちが初挑戦しようと思いました」とのこと。加盟町村間の交流を通じて魅力的なコラボ商品も生まれているようです。

●時を超えて村に継承されてきた伝統芸能を特別披露



特設ステージでは4町村による伝統芸能が披露され、会場は熱気に包まれました。江戸時代から伝承され、国重要無形民族文化財に指定された地芝居や300年以上の歴史を持ち、多くの地区で継承されている伝統芸能など貴重なものばかり。高層ビル群の合間から射し込む陽の光がステージを照らし、色とりどりの衣装を身にまとう演者たちの伝統芸能をいっそう美しく引き立てていました。



大鹿歌舞伎（長野県大鹿村）



木曾踊と木曾節（長野県木曾町）



小宮の田植え踊り (福島県飯舘村)



椎葉神楽 (宮崎県椎葉村)



町村地域の暮らしや仕事を紹介する体験ブースでは、4 町村によるワークショップが提供されたほか、「日本で最も美しい村」連合の学生サポーターによる「ダーツ de 日本旅行」や、早稲田大学の学生による静岡県松崎町の PR とハーバリウム制作体験を行うブースが設置され、子どもから大人まで多くの人でにぎわいました。

一方、常盤橋タワー8階のカンファレンスルームでは、「全国 U35 みらい創造会議 IN TOKYO」を開催。9 町村地域の若手メンバーが集まり、村が存続するための地域資源の活かし方について話し合い、互いに知見を深める貴重な機会となりました。大盛況のうちにイベントの幕を閉じた後は、交流会とアフターパーティーが行われ、町村地域の人々とサポーターの方々が親睦を深めました。

●若者にも響いた、世界につながる「日本で最も美しい村」連合の活動と村の魅力



イベント終了後、NPO 法人「日本で最も美しい村」連合事務局長の浅田陽子氏、同事務局の向井孝暢氏にお話を伺いました。

「2018年から2年間、町村地域の首長が集まるフォーラムを開催してきましたが、より多くの方々に村の魅力を知ってもらい、楽しんでいただきたいという思いから、お祭りとして初めて開催するに至りました。私たちはフランス、ベルギー、イタリア、スペインが加盟する『世界で最も美しい村連合』に加盟しており、日本の美しい町や村の魅力を世界に伝え、将来にわたって地域資源の保護と地域経済の発展に寄与することを目指しています。日本の魅力を丸の内から世界に発信するというTOKYO TORCHに込められた思いとの親和性が高く、本イベントの開催地に決めさせていただきました。この会場をご紹介くださり、事前に視察ツアーを開催してくださったDMO東京丸の内をはじめ、多くの方々にご協力いただいたおかげで大成功を収めることができました」

新たな気づきは、多くの若い世代が来場し、連合の活動や村の伝統文化、特産品に対して興味を持ってもらえたことだと言います。

「各町村内の最も美しい村活動はご高齢の方が関わる人が多いのが現状ですが、若い世代の方にも関心を持ってほしいと思っていた私たちとしてはうれしい発見でした。今回参加した町村地域の皆さんからも、『このような素晴らしい立地で開催されるイベントに参加できてよかった』『来年も参加したい』など、高評価のお声が寄せられています。このイベントのテーマは出会いだったのですが、実際に首都圏で暮らす皆さんと村の人々が出会い、マルシェや伝統芸能、体験を通じて村の魅力をお伝えできたのではないかと思います。気になった村にはぜひ訪れていただければ幸いです。日本には小さくても素晴らしい景観や文化をもつ美しい村が数多くあります。今後も連合に加盟する町村地域と一丸となって、小さな村の素晴らしい魅力を発信するとともに、連合の活動も伝播していきたいと思ひます」

DMO東京丸の内は今後も大丸有エリアにさらなる活気をもたらすべく、エリア内のさまざまな施設を活用し、このエリアの魅力を皆様に感じていただける企画を検討・実施してまいります。